

令和8年7月3日

麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起について

令和8年7月1日（水）、市内の医療機関から麻しん疑い患者発生の連絡があり、7月2日（木）、富山県衛生研究所で遺伝子検査を実施したところ、麻しんであることが判明しました。

また、患者の行動歴を確認したところ、周囲に感染させる可能性のある時期に下記の公共交通機関において不特定多数の方と接触した可能性があることが判明しましたのでお知らせします。

1 患者の概要

- (1) 患者：30歳代 男性
- (2) 予防接種歴：2回
- (3) 海外渡航歴：スペイン、イタリア
- (4) 症状：発熱
- (5) 現在の状況：自宅療養中
- (6) 発症日：7月1日（水）

2 患者が利用し、不特定多数の方と接触した可能性のある公共交通機関

6月30日（火）羽田空港発（NH319便、16：20発）富山空港行き

※麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下とされています。麻しん患者が利用した公共交通機関を現時点で利用されても感染の心配はありません。

上記日時に当該公共交通機関を利用された皆さまへ

- ・利用日から3週間（21日）の間、体調に注意してください。
- ・利用後、麻しんを疑う症状（発熱、発疹、咳、鼻水、目の充血など）が現れた場合、外出を控えてください。

3 感染の拡大防止のためお願い

麻しんを疑う症状があり、医療機関を受診する場合の注意点

医療機関を受診する際には、あらかじめ電話で麻しんの可能性があることを伝え、医療機関の指示に従って受診してください。

受診時は、マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて、自家用車等で受診してください。

4 予防

麻疹は感染力が強く、手洗い、マスクのみでは予防できません。

最も有効な予防法は予防接種です。

麻疹の定期予防接種（第1期：1歳児、第2期：小学校就学前の1年間）の対象となる方は、予防接種を受けましょう。

麻疹にかかったことがなく2回の予防接種を受けていない方で、流行国に渡航するような場合は、かかりつけの医師にご相談の上、接種をご検討ください。

○麻疹に関する情報については下記のホームページをご覧ください。

- ・厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html

- ・国立健康危機管理研究機構

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/measles/index.html>

5 麻疹の発生状況

年次	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
富山市	0	0	0	0	3
富山県	0	0	0	0	8
全国	6	28	45	265	539※

※令和8年7月1日時点速報値

【報道機関各位へのお願い】

麻疹に関する注意喚起を目的とした情報提供です。

報道に際しては、患者様ご本人およびご家族のプライバシーに特段の配慮をお願いいたします。

また、公共交通機関への直接の取材や問い合わせはお控えください。

【お問い合わせ先】

富山市福祉保健部保健所保健予防課 結核・感染症係

電話：076-428-1152（直通）（当日17時まで対応します）